



うるし

第2号 令和5年5月15日

始良市立漆小学校

校訓：清く 正しく たくましく

TEL：0995-52-8600 FAX:0995-54-3927

http://www.12.synapse.jp/urushi/

「心を形」にする

校長 榎元 寛之

今年の大型連休は、残念ながら、雨・雨・雨の連続でした。まもなく九州南部も、梅雨入りになると思われます。海や川は、大雨の増水や潮の干満によりその様相が大きく変わります。増水した川や満潮時の海は、危険度も増します。学校では「増水した川・側溝には近づかない」「山・川・海には子どもだけでいかない」ことを繰り返し指導しています。御家庭でも、折に触れ自然の中での遊び方などについて、お話をしてくださいようお願いします。



【正門での元気なあいさつ】

さて、子どもたちが家を出て学校に着くまで、更には学校が終わっての帰り道、何人ぐらいの人とあいさつを交わしているでしょうか。毎日、多くの人とチャンスがあります。しかし、あいさつをしようと心がけていないと、あいさつもせずに通り過ぎてしまうでしょう。たとえ思っていたとしても「声に出してはっきり言う」ことがないと、せつかくの思いや気持ち相手が伝わっていないかもしれません。そこで、「毎日、〇〇人とあいさつをする」と決め、そのことを実行することが大切です。ちなみに、毎朝の登校指導で漆小正門前に立っておりますと、子どもたちは私に対して元気よくあいさつをしてくれます。さらに、「立ち止まって」「頭まで」できる子どももいます。是非続けてほしいと思います。

このことは、トイレのスリッパ並べも同じです。子どもたちは、次に使う人のことを考え、向きをそろえて並べているでしょうか（本年度、本校では特に「くつ・スリッパ揃え」に取り組んでいます）。また、助けられたり親切にされたりしたときは、「ありがとう」と言葉や態度にして表しているでしょうか。

子どもたちが進んであいさつをしたり、自分の意見や考えなどを言葉や行動で表したりすることが、元気で充実した学校生活をつくっていきます。トイレのスリッパをはじめ、かばん棚やそうじ用具棚など整理整頓されている環境も「心」を育てているのです。

これから雨の日が多い時期ですが、1学期の充実期でもあります。「晴耕雨読」のとおり、音読・読書や家庭学習（低学年40分、中学年60分、高学年90分）の定着を図り、健康・安全にも留意して楽しい毎日を過ごしてほしいと思います。

うるしょう運動 本年も！

本校の学校教育目標「夢に向かって自ら学び 心豊かで たくましく生きる 漆の子の育成」に向けては、学校と家庭が連携して推進していくことが大事です。そこで、PTAとして取り組んでいる「う・る・し・ょ・う運動」について改めて確認したいと思います。

| | |
|---|------------|
| う | …うんと ほめる |
| る | …るんるん 団らん |
| し | …しっかり あいさつ |
| ょ | …よく 勉強 |
| う | …運動 継続 |

①うんとほめる、②るんるんだんらん、③しっかりあいさつ、④よく勉強、⑤運動の継続と素晴らしい取組です。では、①と②は親の取組と分かりますが、③、④、⑤はだれが取り組むことになるのでしょうか。答えは親子、両方です。しっかりあいさつができ、よく勉強して、継続した運動習慣を身に付けた子どもの育成のためには、まず、親のそういった姿が大事になってきます。私も実感していますが、子どもは親の思い通りには育ちにくいです。親の後ろ姿、親がしているように育ちます。うるしょう運動、おうちの方から進んで取り組んでみられてはいかがでしょうか！